

NPO法人 まなの樹  
SINCE 2002

LD、AD/HD、アスペルガーなど、軽度発達障がい  
やその周辺域といわれる子どもにピンポイントの  
教材を、必要なときに引き出せる!

**専門教材を  
パソコンからお手元に**

神奈川県「ボランティア活動推進基金」補助金事業

NPO法人まなの樹が開発した『マナノツリー』は  
特別な指導が必要な子どもの特性・習得度に応じて  
パソコンから最適な専門教材を引き出せる  
画期的な指導者向け教材データベースです。

『マナノツリー』で  
その子の特性・  
習得度から  
教材を検索

多様な子どものニーズ  
に合った効果的な指導

TEL 044-863-7530  
MAIL mananoki@hattatsu.jp.com

PO法人 まなの樹



教材の提供だけで  
なく、子どもの支援  
や指導にかかわる方  
々に、まなの樹のス  
キルを伝える活動も  
している。

# 発達障がい児に関わる 教科学習教材データベース化事業

特定非営利活動法人 まなの樹

POINT

## ひとりひとりに合わせた教材を

まなの樹では、14年  
間、軽度発達障がいを持つ子  
どもたちの教室を運営してき  
た。この事業は、その際手作  
りしていた7000枚の教材を  
整理・分類し、データベー  
スを作ることで、発達障がい  
の子どもひとりひとりの習得・  
つまづき状態に合わせて教材  
を選定できるようにした。  
これにより、指導者の教材の  
作成・手直し等の負担を減ら  
し、子どもたちに対して、よ  
り余裕をもった適切で効果的  
な学習指導が行えるようにな  
ることを目的としている。

27 地域

2017年(平成29年)1月1日 日曜日 神奈川新



発達障害児 学習支援へ  
独自教材データベースに  
NPO法人

データベースで引き出せる教材プリント  
を待つ 斎藤理恵(左)と 通さん  
川崎市高津区

軽度発達障害  
児の学習支援に  
目。国語から「読む」「書  
き」などに分け、「習得度  
」が、14年間にわたって  
作成した約6千種のオリジナル  
教材のデータベースを  
構築しては、「小学1～3年  
程度の漢字が書ける」「数  
行の短い日記が書ける」な  
ど、項目から選択。つま  
づき検査では、「文字は  
完成させた。子どもの特性  
に即した教材を検索」が  
できる。同法人は「発達障害  
児に教えるべき知識やボ  
ルティア団体などに使っ  
てもらう」を目的とし  
て、このデータベースを  
公開する。

同法人は、軽度発達障害  
のある幼児から中学生まで  
を対象に、学習指導や社会性  
訓練を行う教室を2002  
年から運営。近年は同様の  
支援を行う団体も増えたた  
め、16年夏には教室を閉鎖し  
教材面でのサポートに切り  
替えた。3年かけてデータ  
ベース化に取り組み、16年  
11月に完成した。

同法人の運営総務部長  
は「得意・不得意が人によ  
っては異なるので、習得  
度を細かく設定した。得意  
分野を伸ばせば自信を付け  
ることができ」と説明す  
る。講師として教材を作っ  
た通さん(27)は「発達障  
害児は、学校で教わらな  
くても自然に習得できるこ  
とがわかってきた。日々  
の指導に関する教材もあ  
るので、今後追加してい  
たい」と話している。

年会費1万5千円、団  
体規模に応じた約金(1年  
1千円)で利用可能。1  
月分の利用料を自分で  
支払う。15年夏の開学か  
ら「カエ」メサ・グラン  
ア(同市中原区)で体験登  
録。問い合わせはメール  
(mananoki@hattatsu.jp.com)。  
(塩山 麻美)

2017年元旦に神奈川新聞に掲載された記事。ネットニュースにも掲載され、  
教材データベースの利用についての説明会に、障がい児の教育に携わる多くの  
指導者からの申し込みがあるなど、大きな反響があった。

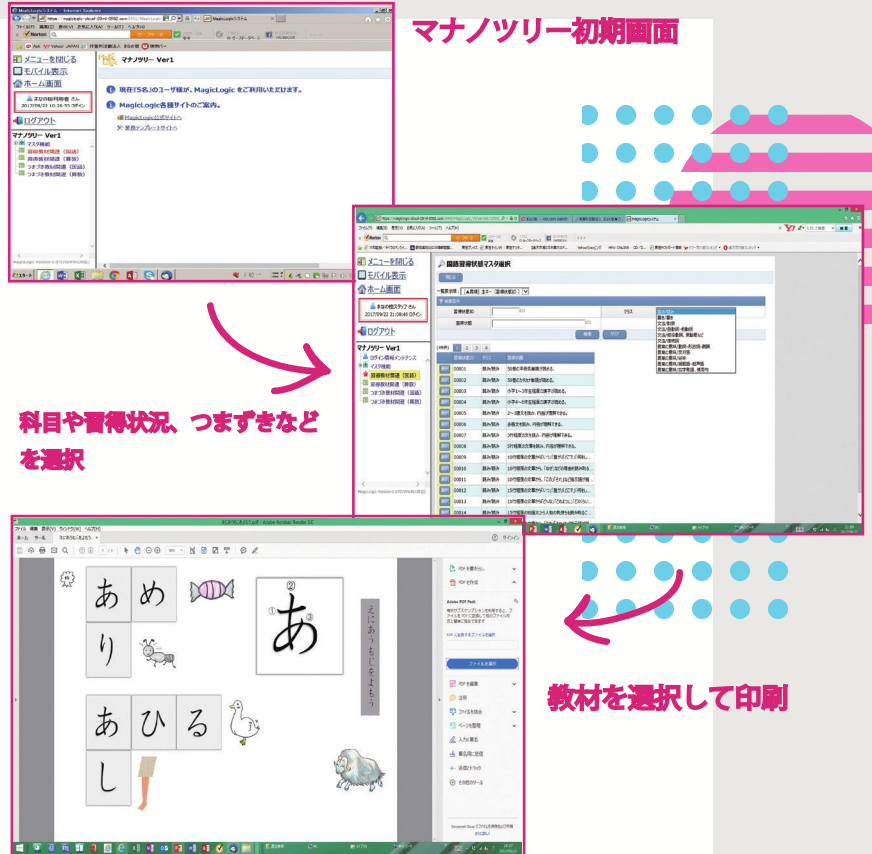
CHECK

## 事業の成果

構想から5年を経て、自主事業の教室の運営と並行しながら、教材データベース「マナツリー」を構築した。

マナツリーは、ウェブ上でIDとパスワードを用いて利用することができ、科目や習得状況、つまずきなどを選択して、ひとりひとりに合わせた教材を選ぶことができる。

現在、指導教室での利用や、横浜市内の小学校などでのモニター利用も始まっている。



マナツリー初期画面

科目や習得状況、つまずきなどを選択

教材を選択して印刷

✓今後の課題



説明会の様子。横浜市・川崎市の学習指導者が集まった。

利用者からは、教材データベースの利用だけではなく、活用方法や新しい教室、部門の立ち上げ等のコンサルティング業務の依頼も多いので、データベースとセットでこのようなニーズに対応できる体制を整えていきたい。

COMMENT



渡辺 美保さん

まなの樹 副理事長・事務局長

○担当者からひとこと

休日を使ってデータベースを構築してくださった協力NPOの方や、スタッフ、ボランティアの皆様、そしてこの基金21のお陰で完成に漕ぎつけることができました。

ありがとうございました。

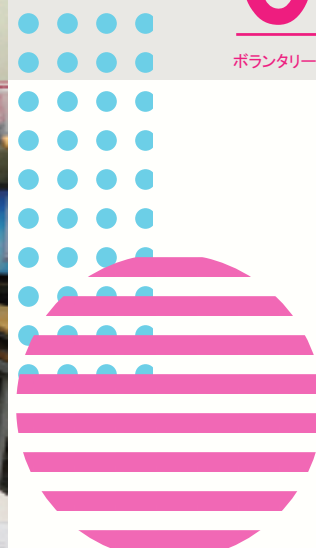
○団体プロフィール

特定非営利活動法人まなの樹

設立：平成14年3月 代表者：理事長 齋藤 敬子  
住所：〒213-0014 川崎市高津区新作 5-25-8 フローライツ 201 団体活動紹介：発達への「困り感」にアプローチする学習支援団体です。教材データベースを利用した教材提供とコンサルティング、個人の方向けに丁寧な通信教育を行っています。

○事業詳細

事業期間：平成26～28年度 総事業費（3年間）：41,104,237円 うち補助金交付額：5,600,000円



# 外国につながる子ども・若者の教育機会の保障のためのプロジェクト

特定非営利活動法人 ABC ジャパン

## POINT

## 外国につながる子ども・若者の居場所づくり

横浜市鶴見区には、外国につながる子どもが多く住んでいる。この事業では、学校や他の支援団体等と連携しながら、様々な悩みを持つ外国につながる子どもや若者のための支援活動を行った。

一つ目の事業は、学習支援拠点の運営である。学校への就学を希望する子どもに対する就学・進学サポートや、不登校・引きこもりの子どもや社会の中で孤立しがちな若者のための居場所づくりを行った。

二つ目の事業は、相談、ガイダンスである。子ども・若者と保護者が日本の教育システムや学校、受験等に関する正しい知識を得て、就学・進学や諸問題の解決ができるよう、多言語教育相談、高校・大学進学オリエンテーション、小学校入学ガイダンス、受験に向けた面接講習セミナーなどを実施した。



上：面接講習セミナー 下：進学オリエンテーションの様子

CHECK

## 事業の成果

事業1の学習支援拠点は年間175日間実施しており、ブラジル・中国・フィリピン・ネパール・ボリビア・モザンビークなど、他にも多くの国につながる子どもに対応することができた。子どもたちはこの場所で、様々なバックグラウンドを持つ仲間やロールモデルとなる先輩と交流し、自分の将来について考えるようになり、高校進学希望者は全員が志望校に合格することができた。



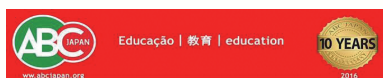
学習支援拠点の子どもたちの様子。

事業2の相談、ガイダンスでは、1か月あたり約20件の相談があった。相談内容は、進学、不登校、部活、いじめ、学費など多岐にわたっている。母語による対応のため、保護者は安心して悩みを相談することができる。また、高校進学ガイダンスは52人、大学進学ガイダンスは42人、高校入試のための面接対策セミナー（全9回）は毎回十数人の参加があった。



## ✓ 今後の課題

言葉の壁や文化の違いから様々な不安を抱える外国につながる子どもと保護者に寄り添い、本当に必要なサポートをしていきたい！



無料・Grátis・Free

### Orientação Sobre o ingresso no colégio japonês

日本語を母語としない人たちのための高校進学ガイダンス

1 Oct saturday

14:00 - 17:00

### こうこうしんがく 高校進学 ガイダンス

10月1日(土)

\*Manual atualizado sobre o "Kôko" em vários idiomas  
 \*Panfletos de vários "Kôko"  
 \*Intérpretes em vários idiomas



Reservas・予約・reservations  
 info@abcjapan.org / T: 045-550-3455

場所・Location  
 朝長中央コミュニティハウス  
 Yokohama-shi Tsuzumaki  
 Tsuzumi-cho 1-31-2 3rd Floor

COMMENT



横江 美智子さん

ABC ジャパン 日本語主任

### ○担当者からひとこと

学校、行政、地域コミュニティなどとの連携、情報交換に力を入れ、外国につながる子どもたちを取り巻く状況について発信し、社会での理解を高める努力を続けていきたいと思えます。

### ○団体プロフィール

- 特定非営利活動法人 ABC ジャパン
- 設立：平成12年10月 代表者：理事長 安富祖 美智江
- 住所：〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央1-4-3 共同ビル
- 5階 団体活動紹介：「多文化共生」「在住外国人の自立」「子どもの教育保障」を基本理念として、日本に暮らす外国人が自立し、安心して暮らしていけるような支援事業を実施しています。

### ○事業詳細

- 事業期間：平成26～28年度 総事業費（3年間）：13,550,276円 うち補助金交付額：6,000,000円



## 小中学生向け ロボット・プログラミング教室事業

特定非営利活動法人 ロボロボ・Club

### POINT

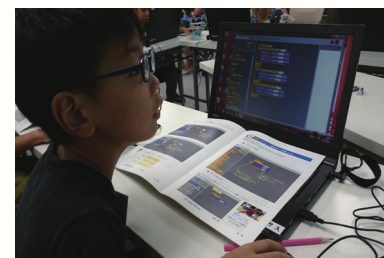
子どもたちに「考えることの楽しさ」を知ってほしい

教室で使用しているロボットは、ブロックで組み立てたり、パソコンやタブレットでプログラミングして動かしている。『あっ、動いた』『え、なんで？すごい!』『もっと、こうしたいな〜』『あれ、おかしいな〜』など、ロボットを思い通りに動かすという「目的」を持つと、子供たちの頭の中はフル回転する。うまくいかないから、考える。考えて、結果がでると面白い。これこそが「知的的好奇心」であり、楽しみながら

学ぶことだと考えている。『考えるって楽しいな』子供たちがこう思ってくれることを目標に活動を行っている。

プログラミングは、ビジュアル言語なので、初学者でも簡単に始められる。本事業を行う以前は、NPO 本部での教室開催が中心だったが、少しでも多くの子供たちに、この経験をしてほしいと考えていた。この事業で「出張教室」と「夏休みイベント」を増やすことができ、その夢が広がった。

開催数はまだまだ少ないが、これからもキッズクラブや施設などに働きかけて、「子供向けのロボット・プログラミング」を誰もが経験できるようにしたいと考えている。



教室にてプログラミングの様子。

CHECK

## 事業の成果

「ロボット・プログラミング出張教室」では、5箇所出張教室を開催し、述べ131人の参加があった。予定よりも開催回数は減ったが、ほとんどの開催場所で、予定数以上の子供達に体験してもらえたことは、団体のねらいとして十分に成果があったと考えている。また、開催した学童クラブでは、次年度開催も検討してもらうなど、事業を拡げることのヒントとなった。

「夏休みロボットワークショップ」には128名の参加があった。補助金をいただけたことで、早くに告知することができ、その結果、夏休み前には予約満員となるなど、広報面で大きな成果が得られた。また、低学年からでも体験できるように、内容を工夫したり、参加費を安くできたことが参加者を増やせた要因だと考えている。



教室を開催する前には、スタッフが準備・研究を行う。

## ✓今後の課題

先生である理系大学生が2～3年程度で入れ替わる中でも、スタッフの質を維持していきたい。また、教室開催には準備・研究が伴うため、収支のバランスをうまく調整していきたい。

## COMMENT



永合 佐千子さん  
ロボロボ・Club 代表理事

### ○担当者からひとこと

企画・準備をしているときは、学生とともに非常に苦労していますが、子供たちの「笑顔」や「考えている真剣な表情」を見ると、とても嬉しくなります。また、子供たちの『未来』を感じます。

### ○団体プロフィール

- 特定非営利活動法人ロボロボ・Club
- 設立：平成25年1月 代表者：代表理事 永合 佐千子 住所：〒231-0023 横浜市中区山下町252 グランベル横浜ビル10階 団体活動紹介：多くの子供が、ロボットに触れたりプログラミングしたりする機会を設けるために、プログラミング教室、出張ロボット教室、ロボットレンタル、夏休みイベントなどを開催しています。

### ○事業詳細

- 事業期間：平成28年度 総事業費（1年間）：1,354,091円 うち補助金交付額：677,000円



# 子どもの権利に関する小冊子作成事業

NPO法人 子どもと共に歩むフリースペースたんぽぽ

POINT

## 不登校は命の非常口

子どもと共に歩むフリースペースたんぽぽは、横浜市鶴見区で不登校の子どもたちの居場所となるフリースペースの運営や、親の子育て支援活動などを行っている。

この事業では、不登校など子育てで悩む孤立した親、子どもに関わる大人たちに、子どもの権利や、子どもの立場に立った具体的な情報を伝えるため、小冊子『不登校と子どもの権利』を作成した。

夏休み明けには多くの子どもたちの自殺の報道が増える。



学校は命を削ってでもいかないといけなところなのか。不登校は命の非常口であり、子どもの命と健康がなにより

### 不登校は「命の非常口」

#### 全ての子どもたちに「学校を休む権利」があります

いじめや先生の体罰、親からの虐待、友達や先生からのいじめやいじめたがら不登校になる。しかし、親が子どもを学校に行かせる義務がある。本人も親も学校に行かざるを得ない状況に陥っている。子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。

子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。

子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。

子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。

子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。

子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。

子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。

子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。

子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。

子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。



過去42年間の18歳以下の子供の登校率 (1999年～2018年) (単位: 千人)

学校の休む権利に、**たくさんの子どもたちが、自ら命を絶っています。**

#### 子どもの想いを理解するには

学校に行かざるを得ない状況に陥っている。子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。子どもは学校に行かざるを得ない状況に陥っている。

本事業で作成した小冊子。

A5版、全11ページ。冊子に関するお問合せは、子どもと共に歩むフリースペースたんぽぽまで。

も大切であるはずだ。このことが、この小冊子の中で一番伝えたいことである。

CHECK

事業の成果


子どもの権利条約には、子どもには休んだりのんびりしたりする権利があると明記されている。しかし、現実の場面で大人が実践しようとしても、簡単に「休んでいいよ」と言えないときがたくさんある。親の相談会では、この小冊子の配布をきっかけに、いろいろな心配や不安を話しやすくなった。タウンニュースや神奈川新聞にも大きく取り上げられ、いまや神奈川県だけでなく沖縄や福岡、大阪などからも冊子の送付依頼が来るようになった。

## 不登校 傷癒やす契機に

### 「心と休、まず休めて」

すべての子に権利

横濱 NPO 法人冊子で発信



冊子を手にする青島さん（前列右）とたんぼぼの利用希望者たち。横濱市鶴見区

不登校児童生徒数の推移

年度	不登校 (人)	不登校率 (%)
2001	1000	11.5
2002	1050	12.0
2003	1100	12.5
2004	1150	13.0
2005	1200	13.5
2006	1250	14.0
2007	1300	14.5
2008	1350	15.0
2009	1400	15.5
2010	1450	16.0
2011	1500	16.5
2012	1550	17.0
2013	1600	17.5
2014	1650	18.0
2015	1700	18.5

神奈川新聞に掲載された記事。

小冊子のイラストは、フリースペースたんぼぼを利用している若者が描いたもの。評判が良く、本人にとってもとても大きな自信につながった。

### 誰にでもおこる不登校

子どもたちはこんな現状で悩んでいます

保護者の心配

子どもは休む権利がある

心と休、まず休めて

不登校は親戚で受け継ぎ

心と休、まず休めて

### すべての子どもたちが生きる希望と将来への夢が持てる学校環境こそが大事

不登校の子も勉強は進んでいる

ひとりで抱えこまないで

✓ 今後の課題

冊子の送付依頼が増えたので、今後はHPでの情報提供もしていきたい。

COMMENT



青島 美千代さん  
子どもと共に歩むフリースペースたんぼぼ 理事長

〇担当者からひとこと

誰でも疲れたら安心してゆっくり休むことのできるあたりまえの社会、子どもたちの命が大切にされ、多様な生き方が認められる社会、そして何よりもいろいろな子どもたちが楽しく過ごせる学校になってほしいと願って、これからも活動を続けていきたいです。

- 〇団体プロフィール
- NPO法人子どもと共に歩むフリースペースたんぼぼ
- 設立：平成20年5月 代表者：理事長 青島美千代 住所：〒230-0061 横浜市鶴見区佃野町1-7-202 深谷ビル 活動紹介：子ども会議でやりたいこと、行きたいところなどを話し合い、毎月の予定やお昼のメニューを決めています。また、毎月1回、親たちの相談交流会を行っています。
- 〇事業詳細
- 事業期間：平成28年度 総事業費（1年間）：4,994,955円 うち補助金交付額：468,000円